

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名		一般国道2号 富海拡幅			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局	
起終点		自: 山口県周南市戸田 至: 山口県防府市富海					延長	3.6km	
事業概要									
一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 富海拡幅は、山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和、交通安全の確保などを目的とした延長3.6kmの道路整備事業である。									
H23年度事業化			S48年度都市計画決定 (H22年度変更)		H24年度用地着手		H26年度工事着手		
全体事業費		約190億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)		約89%	供用済延長		0.0km
計画交通量		35,300台／日							
費用対効果 果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 45/233億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 278/278億円		基準年		
	1.2	4.9%	事業費: 27/214億円 維持管理費: 19/19億円		走行時間短縮便益: 262/262億円 走行経費減少便益: 14/14億円 交通事故減少便益: 2.6/2.6億円		令和6年		
	1.7 [2%]								
	2.1 [1%]								
	(残事業)	(残事業)	(事業全体)		(残事業)				
	6.1	48.0%	感度分析	交通量	B/C=1.01～1.4(±10%)	交通量	B/C=5.2～7.1(±10%)		
7.4 [2%]	事業費		B/C=1.2～1.2(±10%)	事業費	B/C=5.8～6.5(±10%)				
8.1 [1%]	事業期間		B/C=1.1～1.2(±20%)	事業期間	B/C=6.0～6.3(±20%)				
事業の効果等									
①円滑なモビリティの確保									
・渋滞損失時間の削減が期待される。									
・混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が見込める。									
・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【防長交通】									
・防府市から徳山駅(新幹線駅)までのアクセス向上が見込まれる【徳山駅(新幹線駅)】									
②物流効率化の支援									
・徳山下松港(国際拠点港湾)へのアクセス向上が見込まれる									
③国土・地域ネットワークの構築									
・日常活動中心都市である防府市へのアクセス向上が見込まれる									
④個性ある地域の形成									
・道の駅「ソレーネ周南」[周南市](R4:70万人)、防府天満宮[防府市](R4:119万人)等へのアクセス向上が期待される									
⑤災害への備え									
・山口県の第1次緊急輸送道路に指定(一般国道2号)									
・緊急輸送道路である山陽自動車道(徳山西IC～防府西IC)の通行止め時の代替路線を形成									
⑥地球環境の保全									
・CO2排出量の削減が期待される									
⑦生活環境の改善・保全									
・NOX排出量削減が期待される									

・SPM排出量削減が期待される

⑧他のプロジェクトとの関係

・関連する大規模道路事業(一般国道2号戸田拡幅)と一体的に整備する必要がある

・第5次防府市総合計画「輝き!ほうふプラン」において「防府・未来へのネットワーク構想」に位置づけ

・やまぐち維新プランにおける重点施策「強みをのばす産業基盤の整備」において幹線道路網の整備とし位置づけ

関係する地方公共団体等の意見

山口県知事の意見:

一般国道2号富海拡幅の「対応方針(原案)」案である「継続」に対して、異存なし。

引き続き、コスト縮減等を考慮の上、令和7年度の1日も早い供用に向け、より一層の事業促進に努めていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

・事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針(原案)について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。

・審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

周南市と防府市を結ぶ国道2号は、沿道地域の開発に伴う交通量の増加により、著しい渋滞や交通事故が発生、東西の移動を担う道路として4車線化整備を計画的に実施してきている。

平成25年5月の戸田拡幅の完成により、周南市と防府市を結ぶ幹線道路のうち富海拡幅区間のみが実質の2車線区間となっている。

国道2号台道・鏑銭司拡幅が令和6年度に事業化した。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和6年3月末時点で、事業全体の進捗率は約89%、用地の進捗率は100%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地買収が終了し、全線にわたり工事を進めており、令和7年度までに全線供用予定である。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

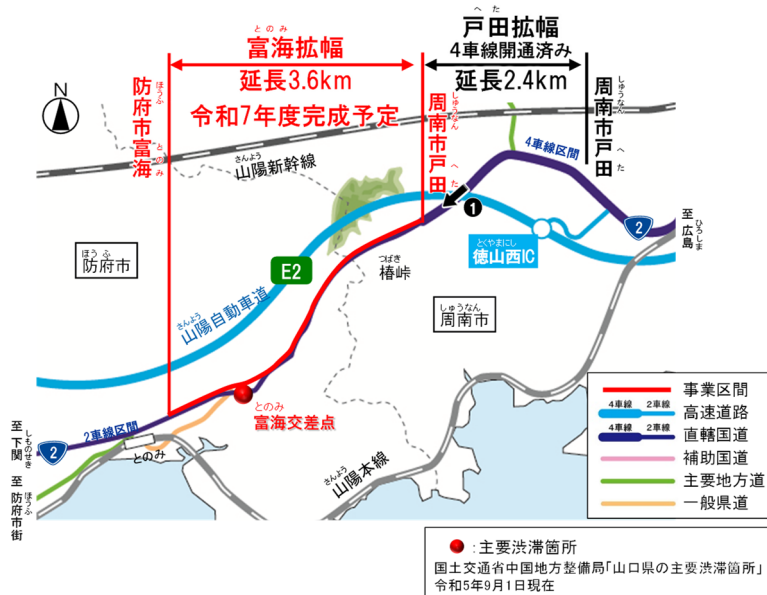
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)